

■ 競技規則等

本大会は、公益財団法人日本バドミントン協会発行の現行の競技規則ならびに大会運営規定に則り実施する。

- 15 点 2 ゲーム先取とする。（14 オールとなった場合は、2 点差がつくまで行い、最長 21 点までとする。）
- 各ゲーム 8 点時および第 1 ゲーム終了時に 1 分以内のインターバルを認める。
- 全種目ファイナルゲーム開始前に 2 分以内のインターバルを認める。

■ 審判について

- 1 試合目の主審・線審は連盟より指定する。コールに気を付けること。
- 主審の立ち位置は本部席に対面する側（本部に背を向けない側）で行うこと。
- 選手が揃ったら速やかに試合を始め、コートに選手が揃わない場合は本部席に速やかに報告すること。
- コート内で問題があった時(怪我、病気等による中断)は手を上げて、本部役員を呼ぶこと。
- スコアシートには審判名、試合開始、終了時刻、試合時間、シャトル数等必要事項を漏れなく記載する事（勝者サインは不要）。
- 試合終了後、主審が本部席にスコアシートを提出すること。
- 同じコートの次の試合、敗者は主審と線審（得点版）、勝者は線審。不足の場合は各チームで補うこと。
- 主審(敗者)は次の試合のスコアシートを本部席に取りに来ること。
- ゲーム間にはコート全面にモップをかけること。またゲーム終了後コートを離れる前にも今一度モップ掛けをすること。

■ その他注意事項

- 開会式前に練習時間を設ける（試合前の練習時間はなし）。
- 全種目トーナメント戦とし、敗者は敗者戦トーナメントに進む。なお、敗者戦トーナメントは全ての試合は行わず、全選手が 1 試合行うまでとするため、コールに気を付けること。通常トーナメントでは 3 位決定戦を行う。
- スケジュール 2 段目以降は空きコートから順にコールする。試合がコールされた選手は速やかにコートに入ること。
- 荷物は主審側の指定された場所に置くこと。
- チェンジエンドの際は、荷物をすべて持って移動すること。
- 試合中のコートを離れる事は認めない。ドリンク、予備ラケット等は必ず準備してコートに入ること。
- ラケット交換時およびシャトル交換時の試打は認めない。
- 試合のコール後、3 分を経過してもコートインが確認できない場合は、競技委員長の判断により棄権扱いとする場合がある。※ロビーには放送が入らないため十分注意すること。
- 応援・観戦は 2 階観覧席からのみとする。コーチ席からのチーム関係者によるコーチングは認める。

競技上の注意および大会規定等（混合ダブルスの部）

2026 年 9 月 6 日

■ 競技規則等

本大会は、公益財団法人日本バドミントン協会発行の現行の競技規則ならびに大会運営規定に則り実施する。

- 15 点 2 ゲーム先取とする。（14 オールとなった場合は、2 点差がつくまで行い、最長 21 点までとする。）
- 各ゲーム 8 点時および第 1 ゲーム終了時に 1 分以内のインターバルを認める。
- 全種目ファイナルゲーム開始前に 2 分以内のインターバルを認める。

■ 審判について

- 1 試合目の主審・線審は連盟より指定する。コールに気を付けること。
- 主審の立ち位置は本部席に対面する側（本部に背を向けない側）で行うこと。
- 選手が揃ったら速やかに試合を始め、コートに選手が揃わない場合は本部席に速やかに報告すること。
- コート内で問題があった時(怪我、病気等による中断)は手を上げて、本部役員を呼ぶこと。
- スコアシートには審判名、試合開始、終了時刻、試合時間、シャトル数等必要事項を漏れなく記載する事（勝者サインは不要）。
- 試合終了後、主審が本部席にスコアシートを提出すること。
- 同じコートの次の試合、敗者は主審と線審（得点版）、勝者は線審。不足の場合は各チームで補うこと。
- 主審(敗者)は次の試合のスコアシートを本部席に取りに来ること。
- ゲーム間にはコート全面にモップをかけること。またゲーム終了後コートを離れる前にも今一度モップ掛けをすること。

■ その他注意事項

- 初戦のみ 2 分間の練習時間を設ける。
 - 混合ダブルス 1 部は総当たり戦で行う。
 - 混合ダブルス 2 部は予選リーグを行い各リーグ 1/2 位、3/4 位選手にてトーナメントを行う。3 位決定戦は行わない。
 - 予選リーグの順位決定方法は以下のとおりとする。
 - ① 勝率
 - ② 直接対決の結果（勝率が同じ場合）
 - ③ ゲーム率
 - ④ ポイント率
- ※予選で棄権した場合は、棄権前の戦績に関わらずリーグ最下位とする。
- 混合ダブルスは 4,8 コート固定とし、スケジュール 2 段目以降は空きコートから順にコールする。試合がコールされた選手は速やかにコートに入ること。
 - 荷物は主審側の指定された場所に置くこと。
 - チェンジエンドの際は、荷物をすべて持って移動すること。
 - 試合中のコートを離れる事は認めない。ドリンク、予備ラケット等は必ず準備してコートに入ること。
 - ラケット交換時およびシャトル交換時の試打は認めない。
 - 試合のコール後、3 分を経過してもコートインが確認できない場合は、競技委員長の判断により棄権扱いとする場合がある。※ロビーには放送が入らないため十分注意すること。
 - 応援・観戦は 2 階観覧席からのみとする。コーチ席からのチーム関係者によるコーチングは認める。

■ 競技規則等

本大会は、公益財団法人日本バドミントン協会発行の現行の競技規則ならびに大会運営規定に則り実施する。

- 15 点 2 ゲーム先取とする。（14 オールとなった場合は、2 点差がつくまで行い、最長 21 点までとする。）
- 各ゲーム 8 点時および第 1 ゲーム終了時に 1 分以内のインターバルを認める。
- 全種目ファイナルゲーム開始前に 2 分以内のインターバルを認める。

■ 審判について

- 1 試合目の主審・線審は連盟より指定する。コールに気を付けること。
- 主審の立ち位置は本部席に対面する側（本部に背を向けない側）で行うこと。
- 選手が揃ったら速やかに試合を始め、コートに選手が揃わない場合は本部席に速やかに報告すること。
- コート内で問題があった時(怪我、病気等による中断)は手を上げて、本部役員を呼ぶこと。
- スコアシートには審判名、試合開始、終了時刻、試合時間、シャトル数等必要事項を漏れなく記載する事（勝者サインは不要）。
- 試合終了後、主審が本部席にスコアシートを提出すること。
- 同じコートの次の試合、敗者は主審と線審（得点版）、勝者は線審。不足の場合は各チームで補うこと。
- 主審(敗者)は次の試合のスコアシートを本部席に取りに来ること。
- ゲーム間にはコート全面にモップをかけること。またゲーム終了後コートを離れる前にも今一度モップ掛けをすること。

■ その他注意事項

- 男子ダブルス 1,3 部は初戦のみ 2 分間の練習、それ以外の種目は開会式前に練習時間を設ける。
- 男子シングルス 1 部・男子ダブルス 1 部・男子ダブルス 3 部は総当たり戦で行う。
- 男子シングルス 2 部および女子シングルスはトーナメント戦とし、敗者は敗者戦トーナメントに進む。
- 男子ダブルス 2 部・女子ダブルス 1・2 部・女子ダブルス 3 部は予選リーグを行い各リーグ 1/2 位、3/4 位選手にてトーナメントを行う。
- 全種目 3 位決定戦は行わない。
- 予選リーグの順位決定方法は以下のとおりとする。
 - ① 勝率
 - ② 直接対決の結果（勝率が同じ場合）
 - ③ ゲーム率
 - ④ ポイント率

※予選で棄権した場合は、棄権前の戦績に関わらずリーグ最下位とする。
- スケジュール 2 段目以降は空きコートから順にコールする。試合がコールされた選手は速やかにコートに入ること。
- 荷物は主審側の指定された場所に置くこと。
- チェンジエンドの際は、荷物をすべて持って移動すること。
- 試合中のコートを離れる事は認めない。ドリンク、予備ラケット等は必ず準備してコートに入ること。
- ラケット交換時およびシャトル交換時の試打は認めない。
- 試合のコール後、3 分を経過してもコートインが確認できない場合は、競技委員長の判断により棄権扱いとする場合がある。※ロビーには放送が入らないため十分注意すること。
- 応援・観戦は 2 階観覧席からのみとする。コーチ席からのチーム関係者によるコーチングは認める。